

【CLSI 2025 版作成の経緯】

本サーベイランスでは、参加医療機関が報告した微量液体希釈法等による最小発育阻止濃度（MIC）値を、CLSI（Clinical and Laboratory Standard Institute）に準じた共通の判定基準で抗菌薬感受性結果を判定しているため、全医療機関のデータが比較・集計可能となっている。

JANIS 検査部門では、2014 年年報より CLSI 2012（M100-S22）に準じて「主要菌の抗菌薬感受性」（アンチバイオグラム）を作成してきたが、CLSI の臨床的ブレイクポイントが定期的に更新されること、および参加医療機関における薬剤感受性測定用パネルが切り替わりつつあることを受け、2025 年年報ではこれまで同様 CLSI 2012 の基準に則って判定したデータの集計【CLSI 2012 版】に加え、「7.主要菌の抗菌薬感受性」のみ、CLSI 2025（M100-Ed35）の基準に則って判定したデータを集計した【CLSI 2025 版】を作成した。

【CLSI 2012 と CLSI 2025 との判定基準の相違点】

「7.主要菌の抗菌薬感受性」におけるブレイクポイント相違点（表中の抗菌薬略語は CLSI の表記に準拠）

菌名	抗菌薬略語	CLSI 2012		CLSI 2025	
		S	R	S	R
<i>Staphylococcus aureus</i> (ALL)	CEZ	8	32	削除	削除
<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	AMPC/CVA	4/2	8/4	削除	削除
	IPM	4	16	削除	削除
<i>Staphylococcus epidermidis</i>	MIPIC	0.25	0.5	0.5	1
Coagulase-negative staphylococci (CNS)	MIPIC	0.25	0.5	0.5	1
腸内細菌目細菌 <i>Escherichia coli</i> <i>Klebsiella pneumoniae</i> <i>Enterobacter cloacae</i> <i>Enterobacter cloacae</i> complex <i>Klebsiella aerogenes</i> <i>Citrobacter freundii</i> ・ <i>Citrobacter koseri</i> <i>Proteus mirabilis</i> ・ <i>Proteus vulgaris</i> <i>Serratia marcescens</i>	PIPC	16	128	8	32
	PIPC/ TAZ	16/4	128/4	8/4	32/4
	CFPM	8	32	2	16
	AMK	16	64	4	16
	LVFX	2	8	0.5	2
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	PIPC	16	128	16	64
	PIPC/ TAZ	16/4	128/4	16/4	64/4
	GM	4	16	削除	削除
	LVFX	2	8	1	4
<i>Acinetobacter</i> spp.	IPM	4	16	2	8
	MEPM	4	16	2	8
<i>Haemophilus influenzae</i>	AMPC/CVA	4/2	8/4	2/1	8/4

【抗菌薬感受性結果の重複処理について】

【CLSI 2012 版】と【CLSI 2025 版】では同じデータを集計しているが、抗菌薬感受性検査結果をもとにした重複処理を行っているため、それぞれの測定菌株数に差異が生じる。抗菌薬感受性結果の重複処理については巻末資料を参照のこと。

【CLSI 2025 (M-100 Ed.35) より注釈・脚注を抜粋】

1. *Staphylococcus aureus* (ALL) および (MSSA) の CVA/AMPC (クラブラン酸/アモキシシリン)、CEZ (セファゾリン)、IPM (イミペネム) については、CLSI 2016 (M-100 Ed.26) より判定基準から削除されたため、『CLSI 2025 には判定基準がありません(概要を要参照)』を表示しているが、CLSI 2025 の注釈^{*1}に、“MPIPC (オキサシリン) に感性のある *Staphylococci* は、CVA/AMPC、CEZ、IPM を含むβ-ラクタム系抗菌薬についても感性とみなすことができる”と記載されている点に留意のこと。
2. *Enterococcus faecalis* および *Enterococcus faecium* の LVFX (レボフロキサシン) については、CLSI 2025 の脚注^{*2}には尿検体のみを対象とする旨が記載されているが、当年報では尿検体以外の検体も含め集計している。
3. *Escherichia coli*、*Klebsiella pneumoniae*、*Proteus mirabilis* の CEZ (セファゾリン) については、CLSI 2025 の脚注^{*3}には単純性が複雑性の尿路感染症により判定基準が異なる旨が記載されているが、医療機関から報告された検査材料だけでは単純性/複雑性の尿路感染症の判断ができないため、当年報では検査材料にかかわらず CEZ の判定基準は耐性 ($\geq 8\mu\text{g/mL}$)、感性 ($\leq 2\mu\text{g/mL}$) を用いている。
4. *Pseudomonas aeruginosa* の AMK (アミカシン) については、CLSI 2025 の脚注^{*4}には尿検体のみを対象とする旨が記載されているが、当年報では尿検体以外の検体も含めた抗菌薬感受性結果を集計している。

*1 : CLSI 2025 (M-100 Ed.35) Table 2C. Zone Diameter and MIC Breakpoints for *Staphylococcus* spp.

*2 : CLSI 2025 (M-100 Ed.35) Table 2D. Zone Diameter and MIC Breakpoints for *Enterococcus* spp.

*3 : CLSI 2025 (M-100 Ed.35) Table 2A-1. Zone Diameter and MIC Breakpoints for *Enterobacterales* (excluding *Salmonella* and *Shigella* spp.)

*4 : CLSI 2025 (M-100 Ed.35) Table 2B-1. Zone Diameter and MIC Breakpoints for *Pseudomonas aeruginosa*

【集計対象医療機関について】

公開情報【CLSI 2025 版】の集計対象医療機関は、期を同じくする公開情報【CLSI 2012 版】と同じである。なお、公開情報【外来検体】は、公開情報【入院検体】の集計対象のうち、年間を通じて外来検体提出患者数の報告が 30 件未満の医療機関は集計から除いている。

各公開情報【CLSI 2025 版】の集計対象医療機関数は下記、および各「7.主要菌の抗菌薬感受性」の見出しを参照のこと。

	病床数別	集計対象医療機関数
公開情報 2025 年 1～12 月年報【入院検体・CLSI 2025 版】	全集計対象	3,191
	200 床以上	1,504
	200 床未満	1,687
公開情報 2025 年 1～12 月年報【外来検体・CLSI 2025 版】	全集計対象	2,819

公開情報年報【CLSI 2012 版】の集計対象条件、および疑義データ問い合わせ項目は以下の通り。

集計対象条件

- 集計対象年 1 月～12 月のうち、一部でもデータが未提出の医療機関は集計から除外する
- 19 床以下の有床病床の報告は集計から除外する
- 提出されたデータに下記の疑義が生じた医療機関は集計から除外する

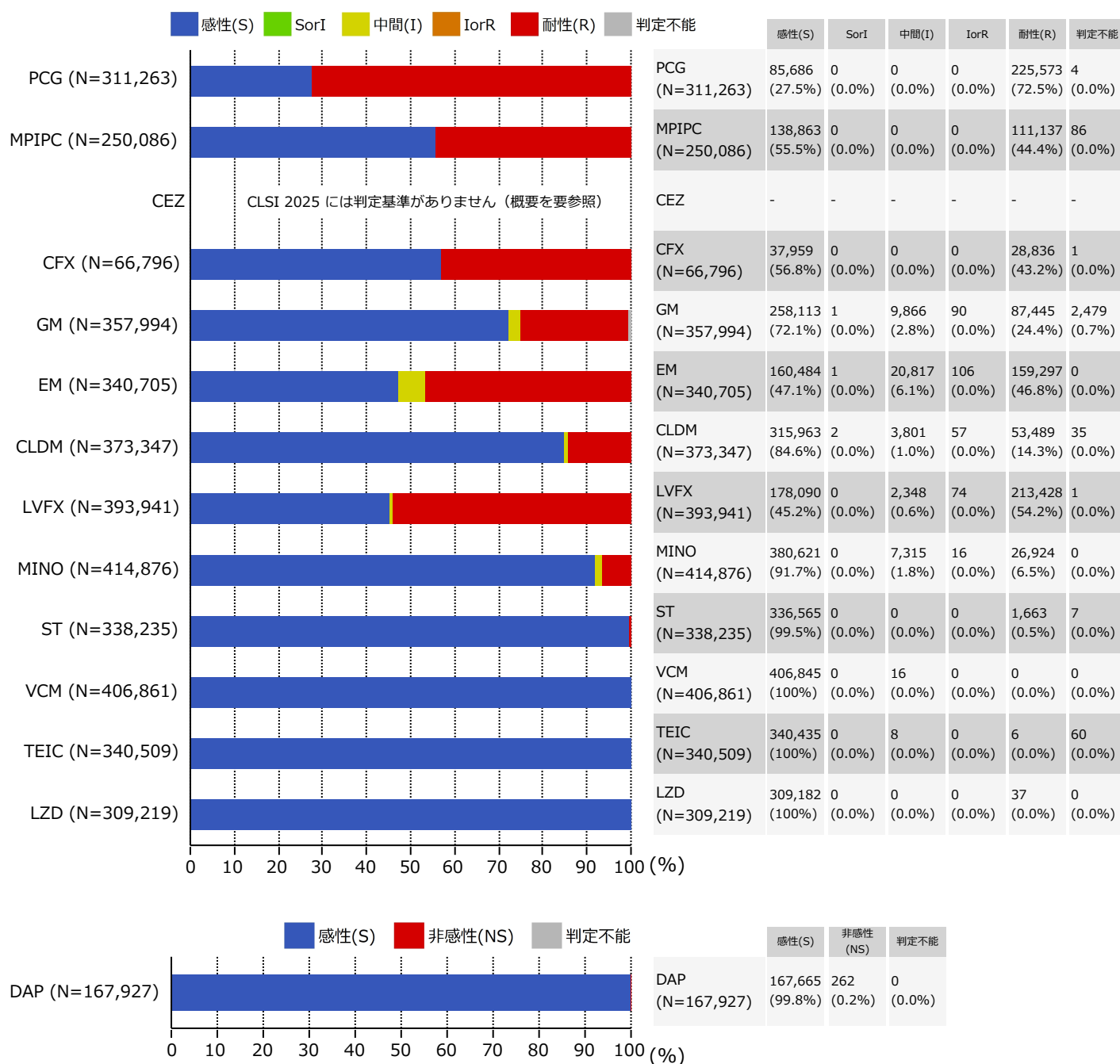
疑義データ問い合わせ項目

- 年間を通じて入院検体の報告がない
- 年間を通じて黄色ブドウ球菌、MRSA および大腸菌の報告がない
- 年間を通じて血液検体、尿検体、呼吸器系検体の報告がない
- 血液検体が年間 10 検体以上報告され、かつ陽性検体の割合が 50%以上
- 髄液検体が年間 5 検体以上報告され、かつ陽性検体の割合が 50%以上
- 微量液体希釈法での報告がない
- CRE の分離率が 5%以上
- 国内で過去に報告がない薬剤耐性菌（特殊な耐性を示す菌：カテゴリーA）に該当する薬剤耐性菌の報告がある
 - ・ PCG、ABPC、VCM、LZD、CTX、CTRX 非感性の *S. pyogenes*
 - ・ VCM、LZD 非感性の *S. agalactiae*
 - ・ VCM、LZD 非感性の *S. pneumoniae*
 - ・ VCM 耐性の *S. aureus*

注：VCM 耐性の *S. aureus* など「特殊な耐性を示す菌：カテゴリーA」（上記、疑義データ問い合わせ項目参照）については、耐性または非感性与報告したすべての医療機関に対して報告内容が正しいかどうか確認している。一方、「特殊な耐性を示す菌：カテゴリーA」以外の抗菌薬感受性結果については、医療機関からの報告をそのまま集計しているため、誤報告が含まれている可能性がある。

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Staphylococcus aureus (ALL) †



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている

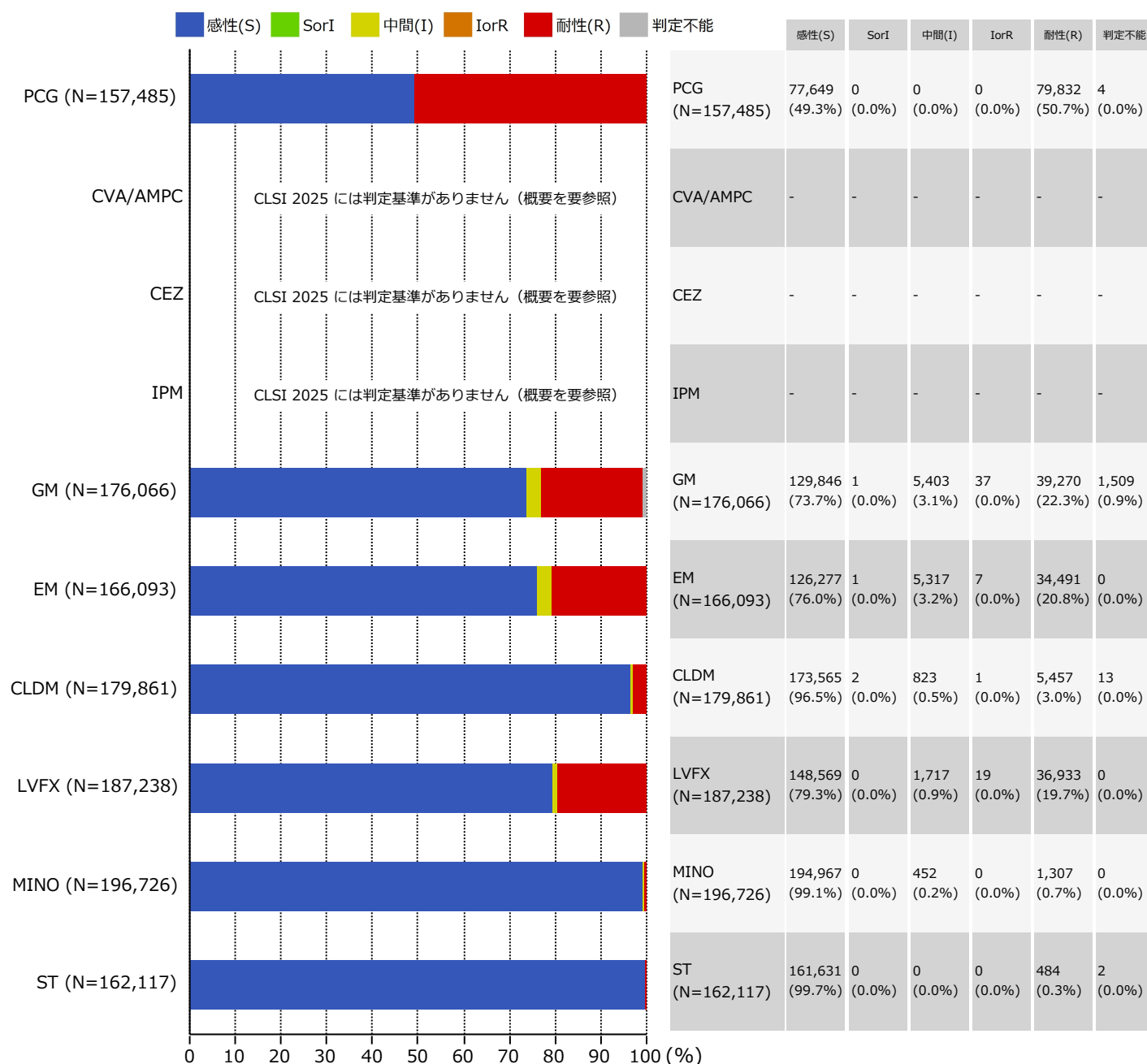
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2025 (M100-Ed35) に準拠

† 菌名コード：1301, 1303～1306と報告された菌

集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Staphylococcus aureus (MSSA) †



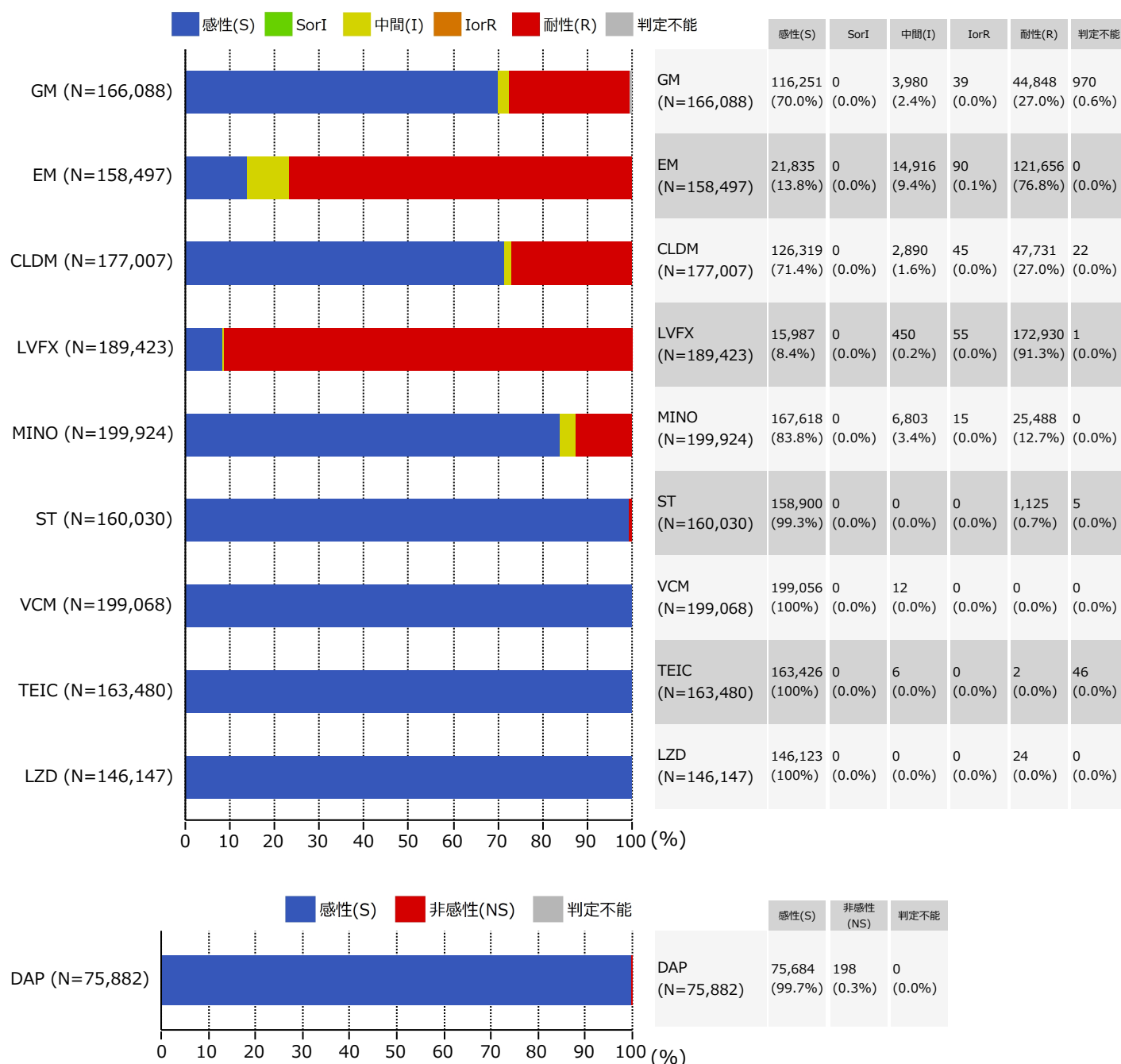
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている

* S,I,Rの判定はCLSI 2025 (M100-Ed35) に準拠

† 菌名コード：1304, 1305, 1306と報告された菌、または菌名コード：1301と報告され抗菌薬コード：1208(オキサシリン)
および抗菌薬コード：1606(セフォキシチン)の感受性結果「S」の菌(一方が「S」で他方が未測定の場合を含む)
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Staphylococcus aureus (MRSA) †



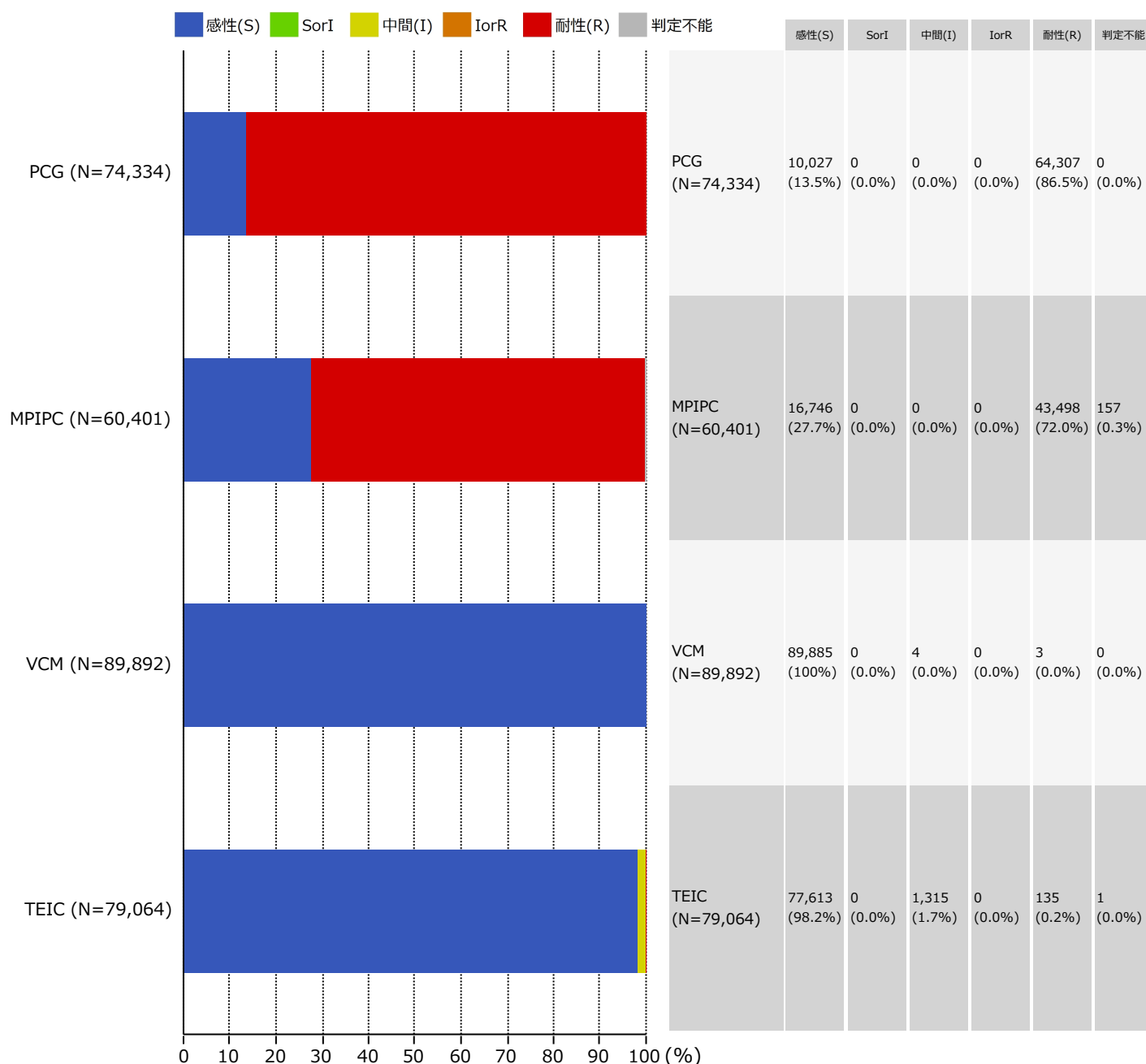
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている

* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2025 (M100-Ed35) に準拠

† 菌名コード：1303と報告された菌、または菌名コード：1301と報告され抗菌薬コード：1208(オキシサシリン)または抗菌薬
コード：1606(セフォキシチン)の感受性結果「R」の菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Staphylococcus epidermidis †



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている

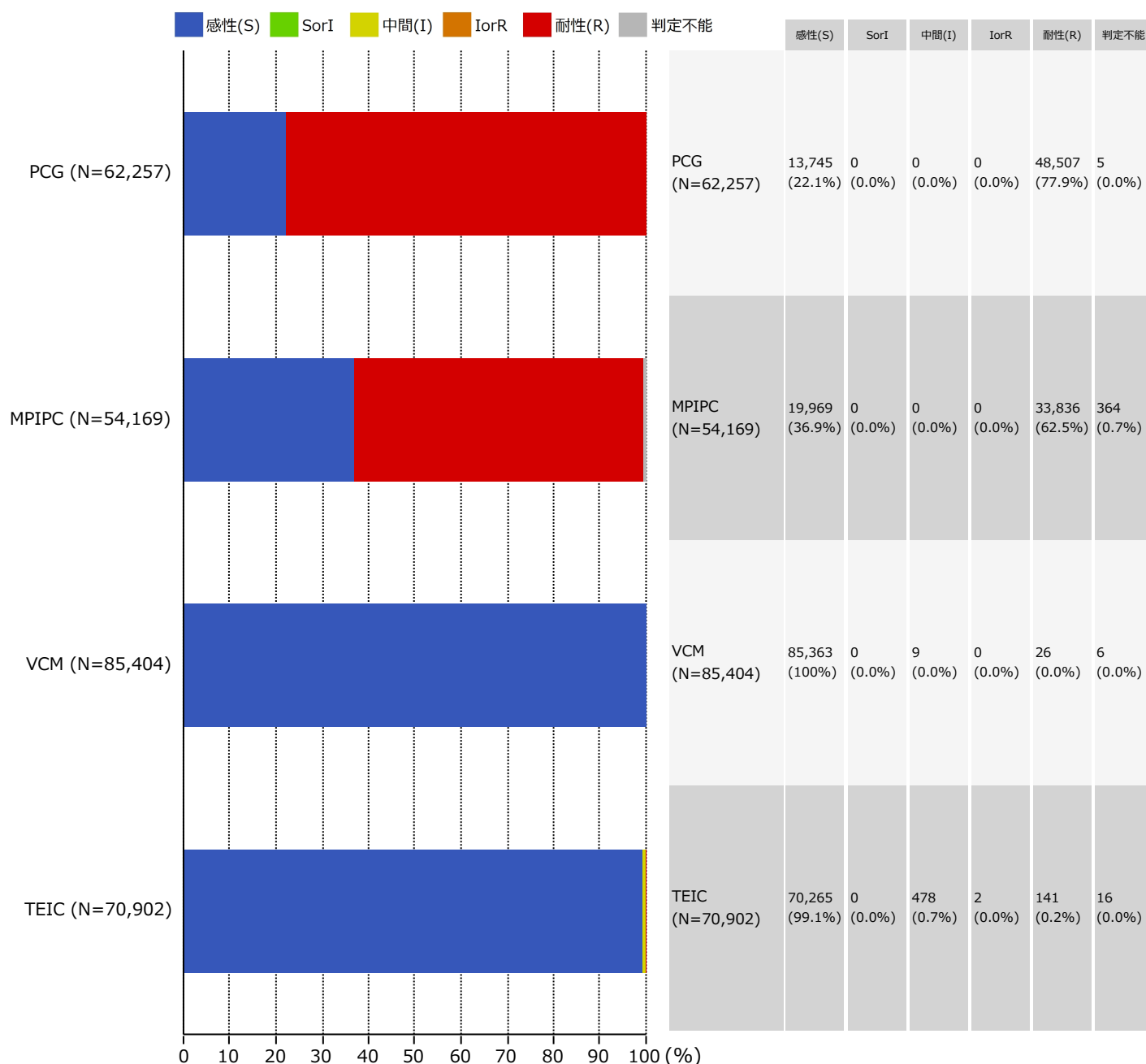
* S,I,Rの判定はCLSI 2025 (M100-Ed35) に準拠

† 菌名コード：1312と報告された菌

集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Coagulase-negative staphylococci (CNS) †



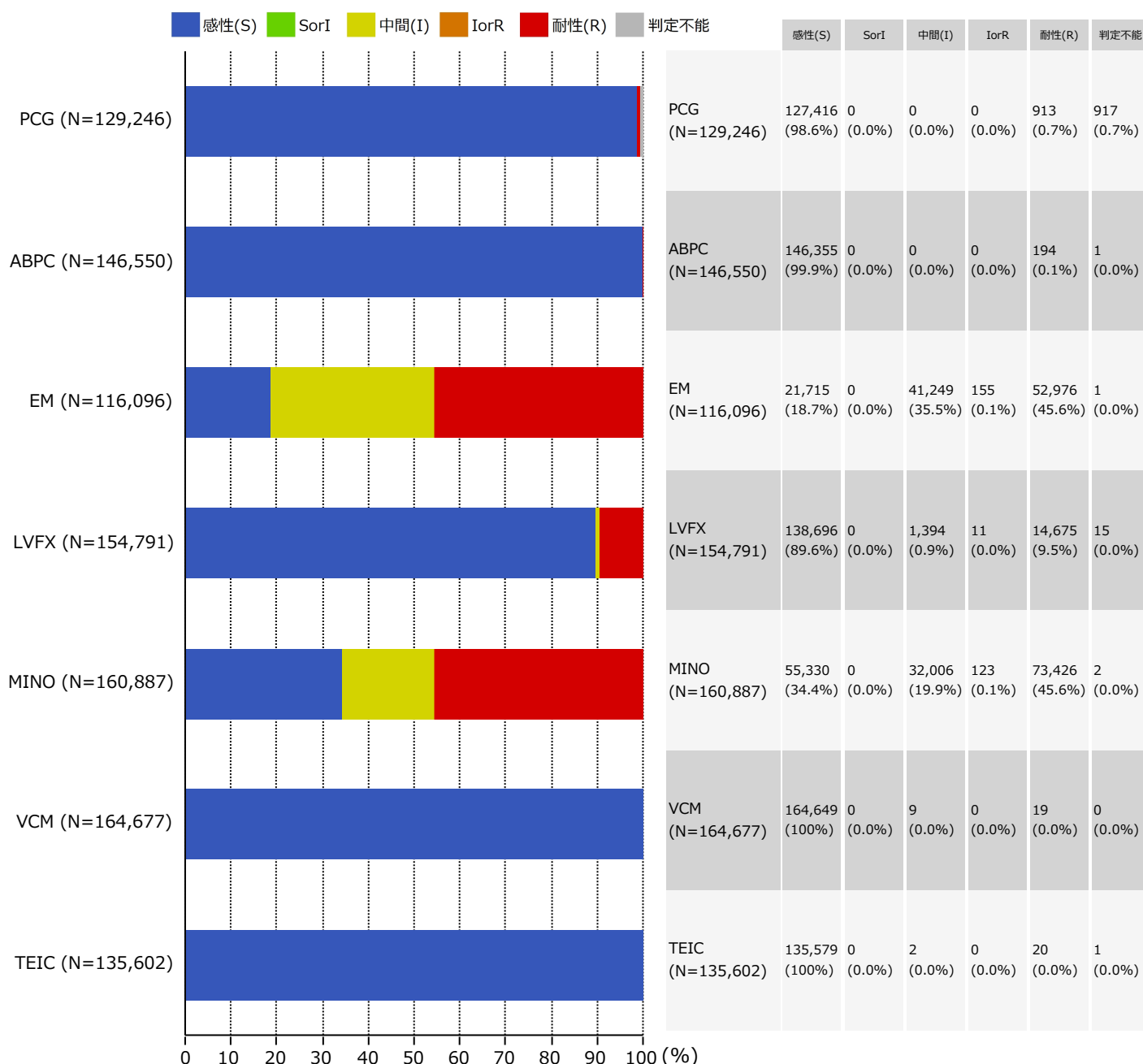
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている

* S,I,Rの判定はCLSI 2025 (M100-Ed35) に準拠

† 菌名コード：1311, 1313～1325と報告された菌(1312: *Staphylococcus epidermidis*は対象外)
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Enterococcus faecalis †



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている

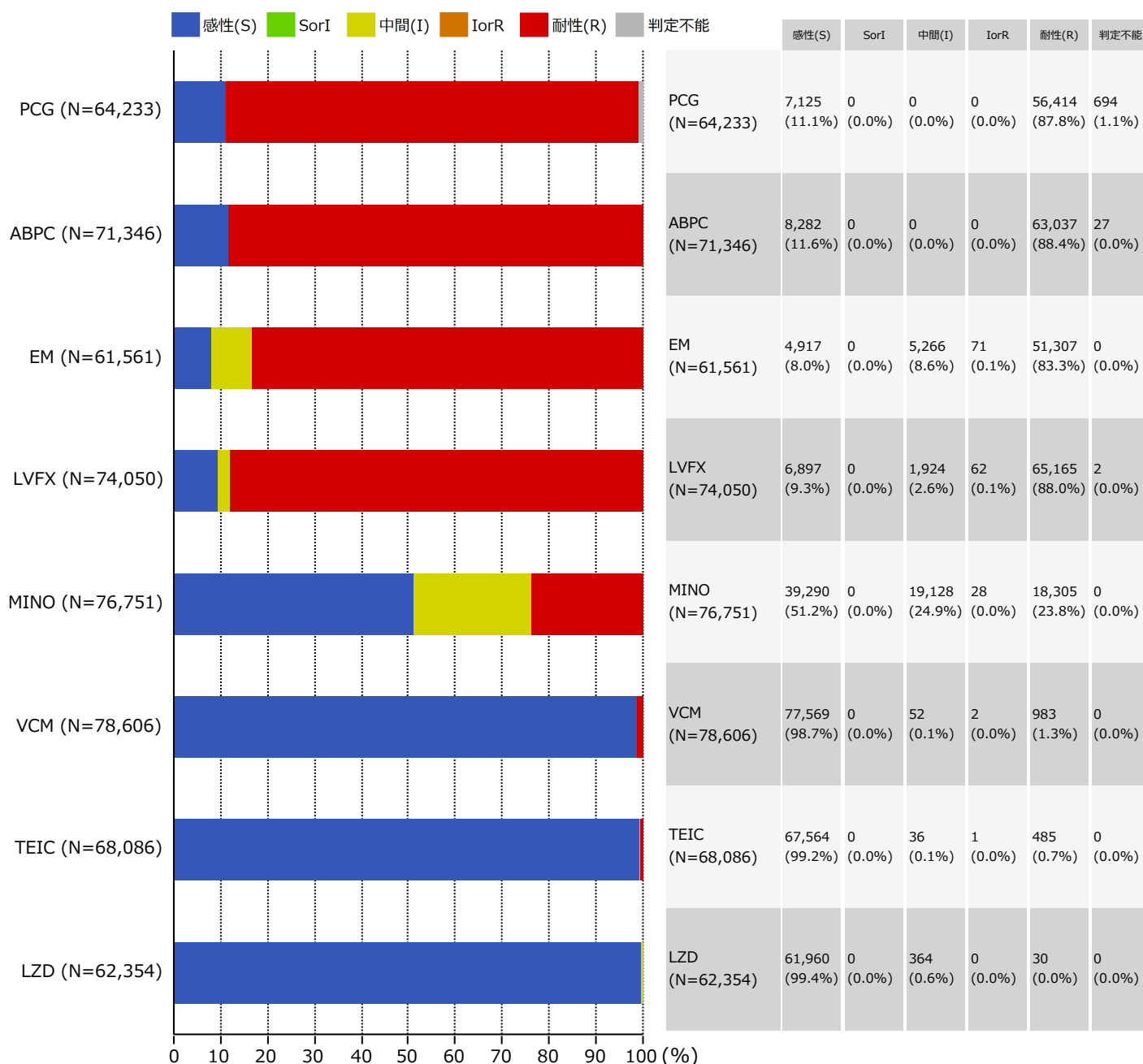
* S,I,Rの判定はCLSI 2025 (M100-Ed35) に準拠

† 菌名コード：1201, 1202と報告された菌

集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Enterococcus faecium †



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている

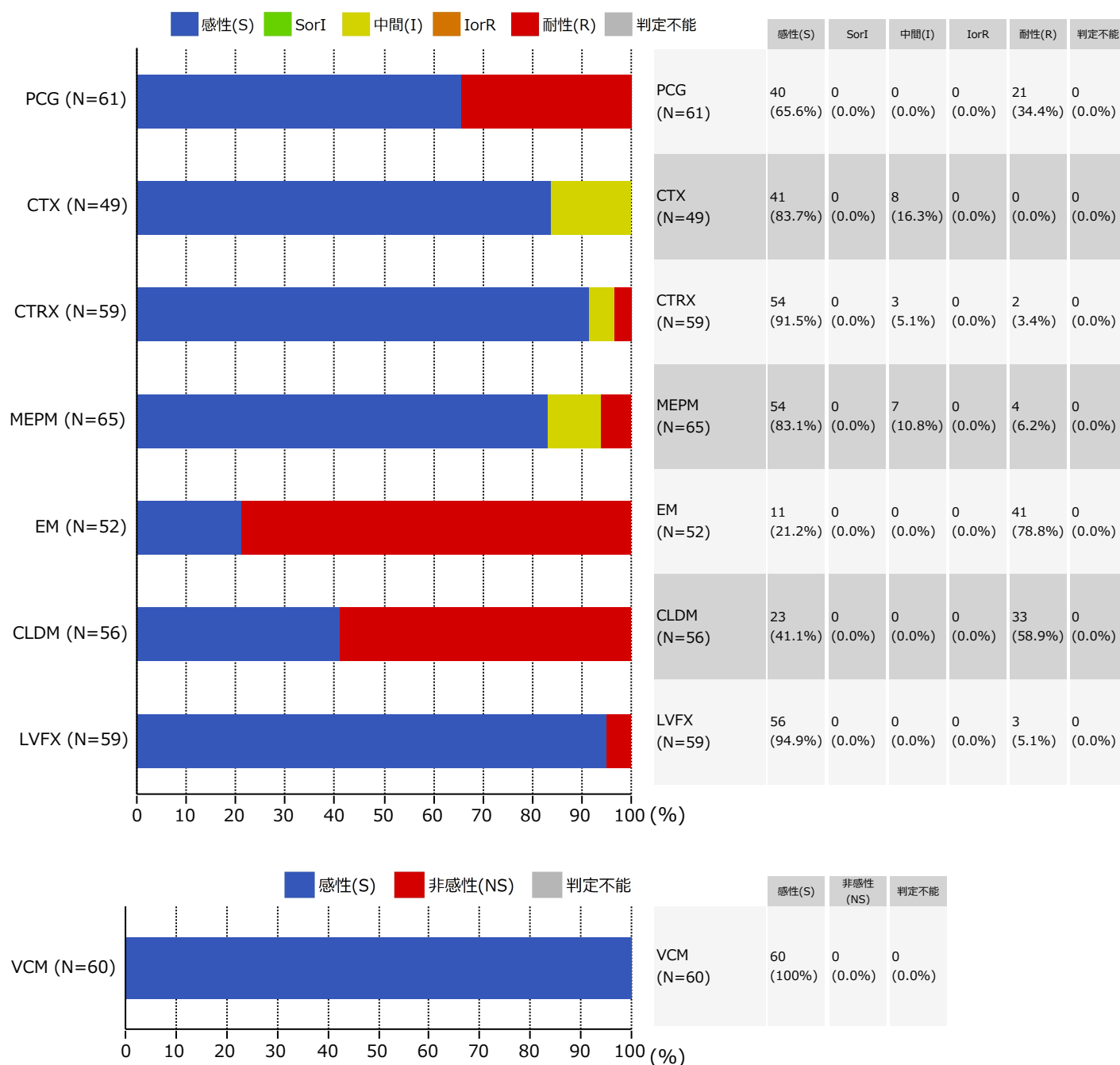
* S,I,Rの判定はCLSI 2025 (M100-Ed35) に準拠

† 菌名コード：1205, 1206と報告された菌

集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Streptococcus pneumoniae(髄液検体) †



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている

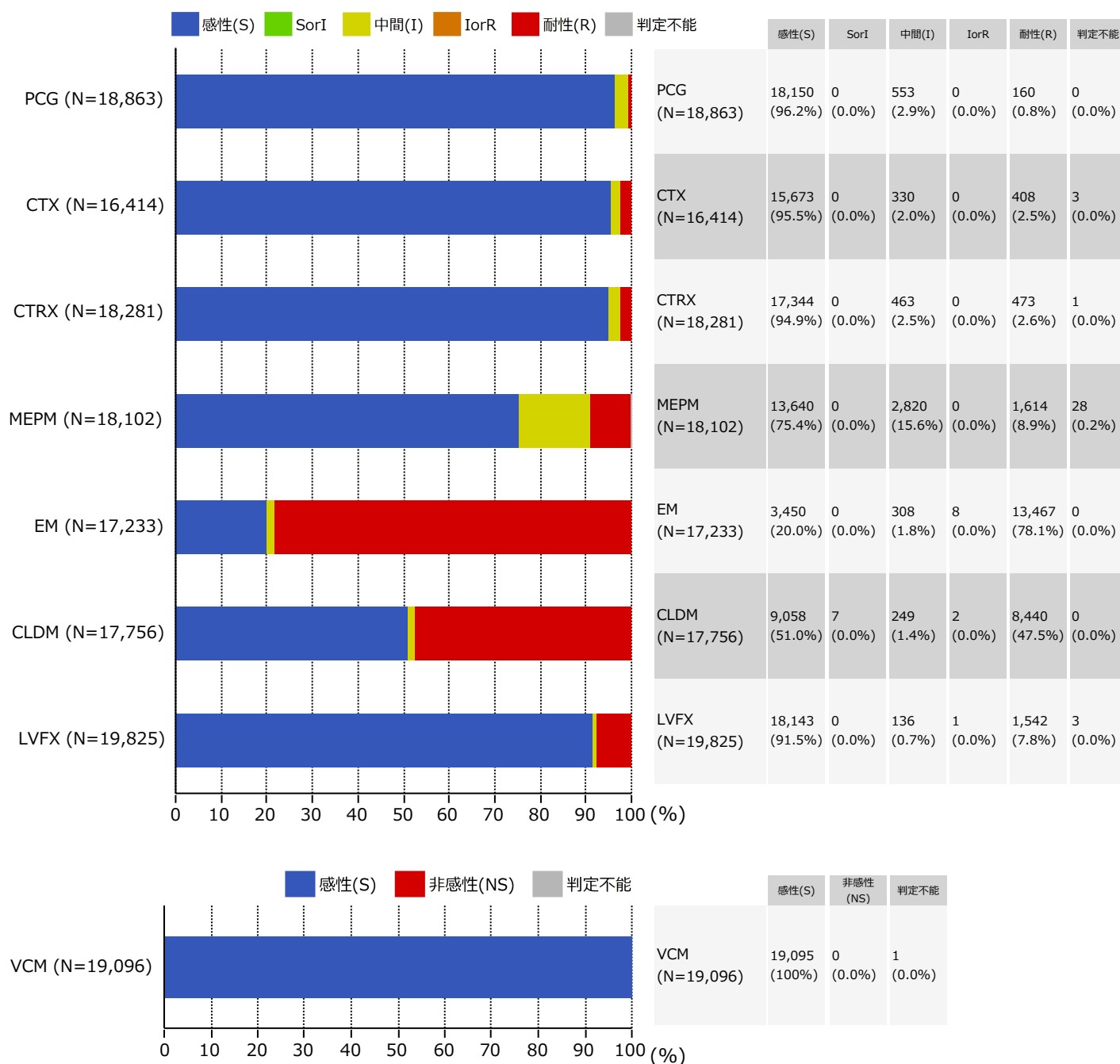
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2025 (M100-Ed35) に準拠

† 菌名コード: 1131と報告された菌

集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Streptococcus pneumoniae(髄液検体以外)†



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている

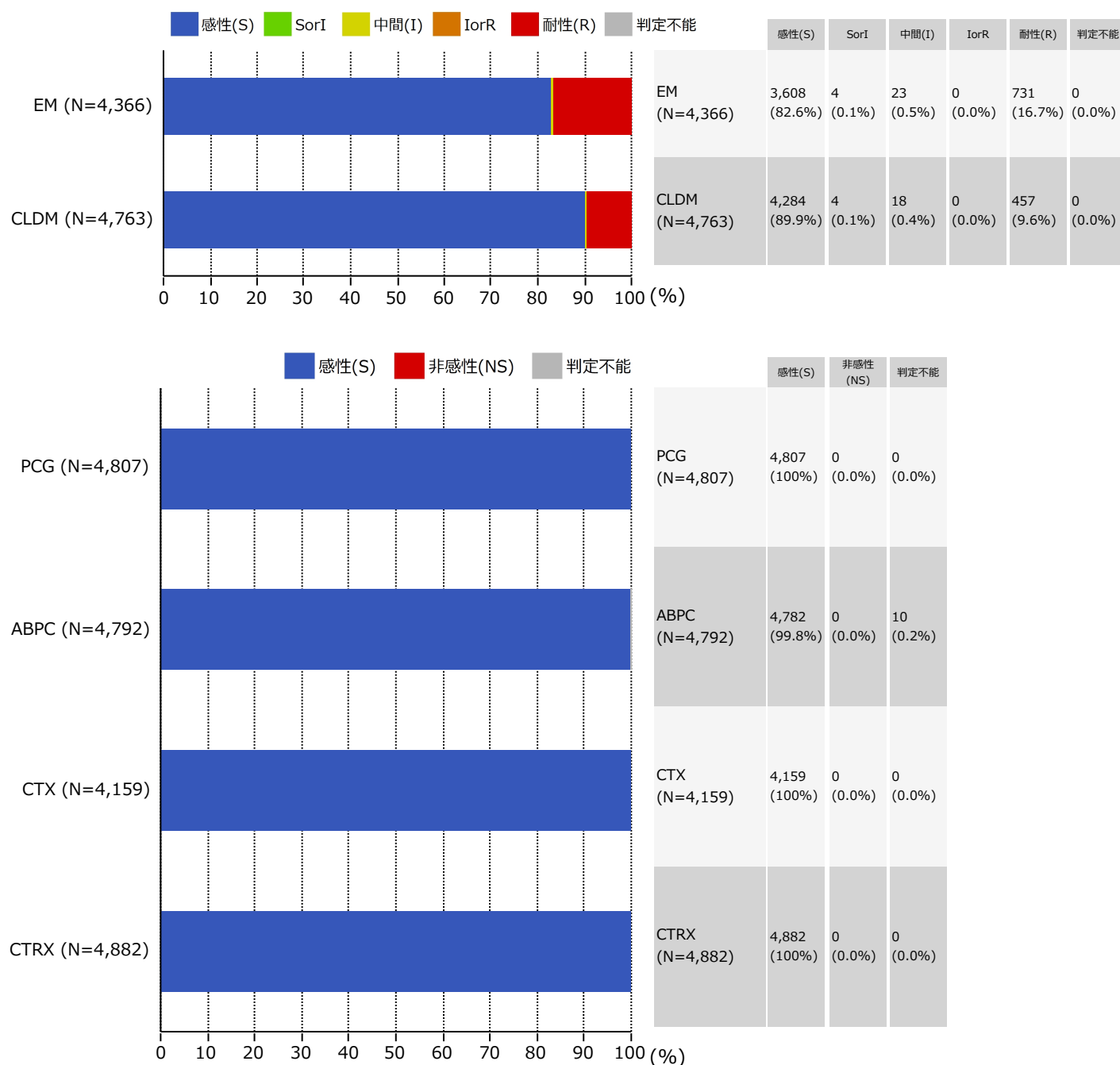
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2025 (M100-Ed35) に準拠

† 菌名コード：1131と報告された菌

集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Streptococcus pyogenes †



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている

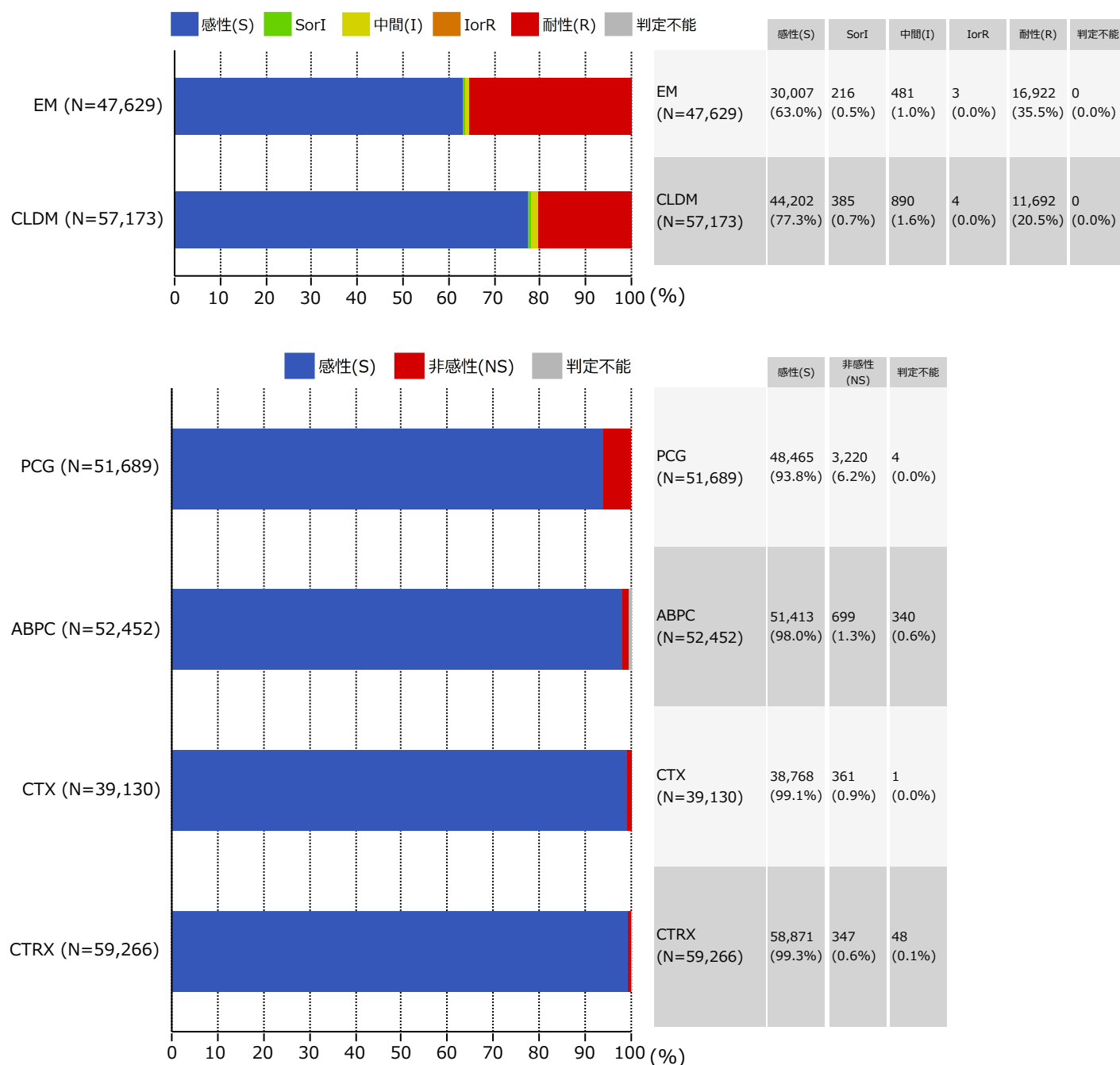
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2025 (M100-Ed35) に準拠

† 菌名コード：1111と報告された菌

集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Streptococcus agalactiae †



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている

* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2025 (M100-Ed35) に準拠

† 菌名コード：1114と報告された菌

集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Escherichia coli †



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている

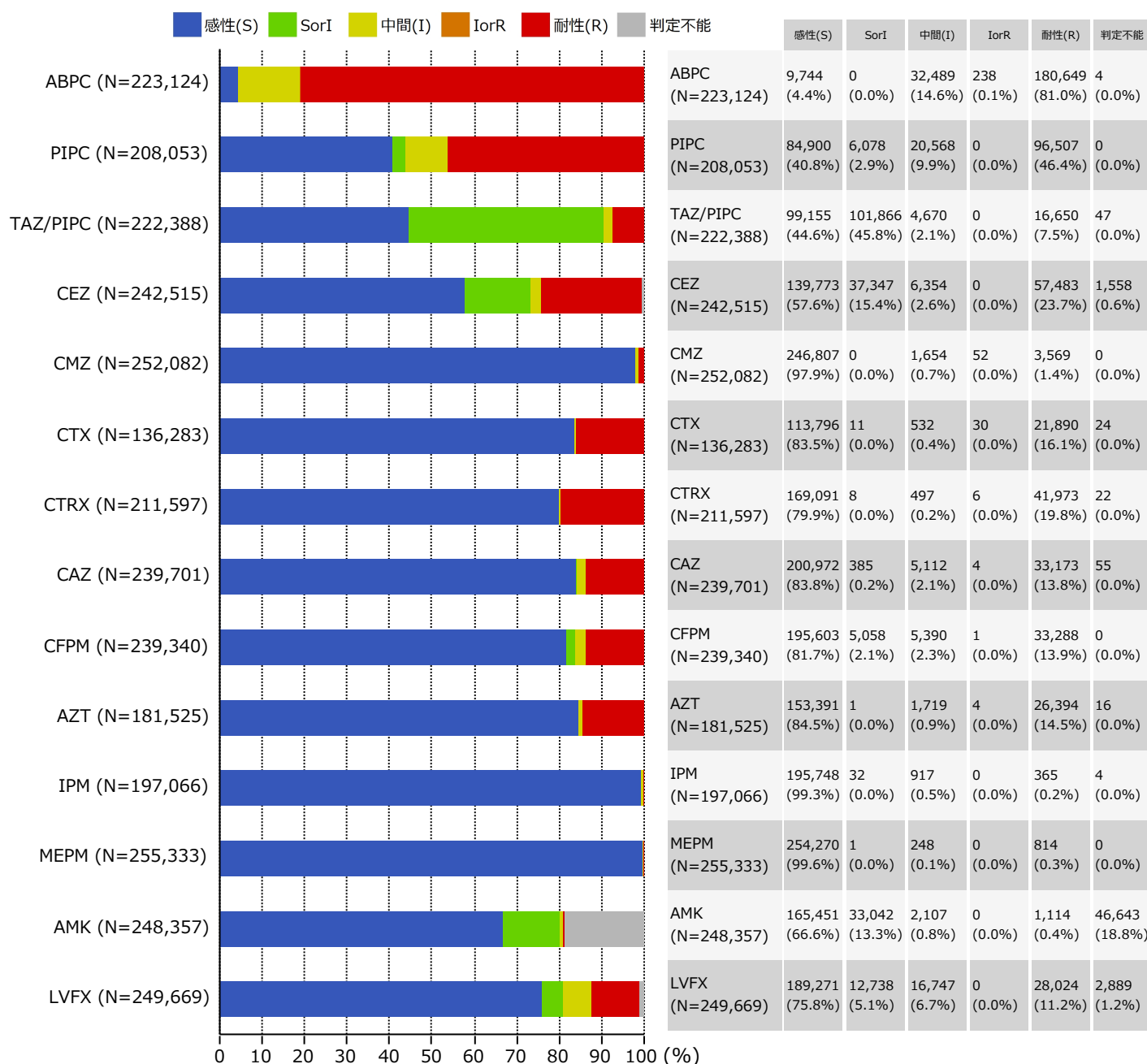
* S,I,Rの判定はCLSI 2025 (M100-Ed35) に準拠

† 菌名コード：2001～2007と報告された菌

集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Klebsiella pneumoniae †



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている

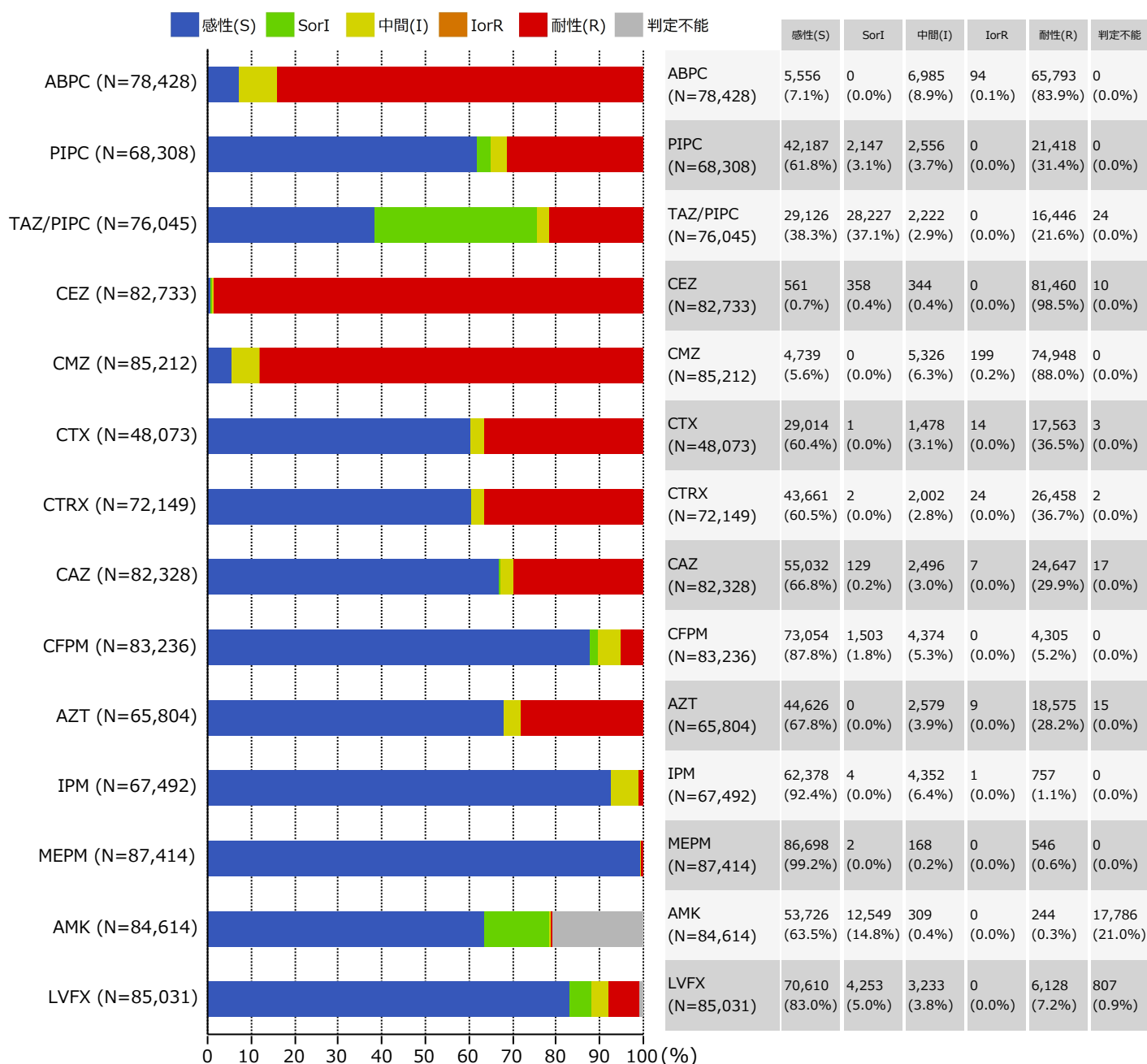
* S,I,Rの判定はCLSI 2025 (M100-Ed35) に準拠

† 菌名コード：2351と報告された菌

集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Enterobacter cloacae †



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている

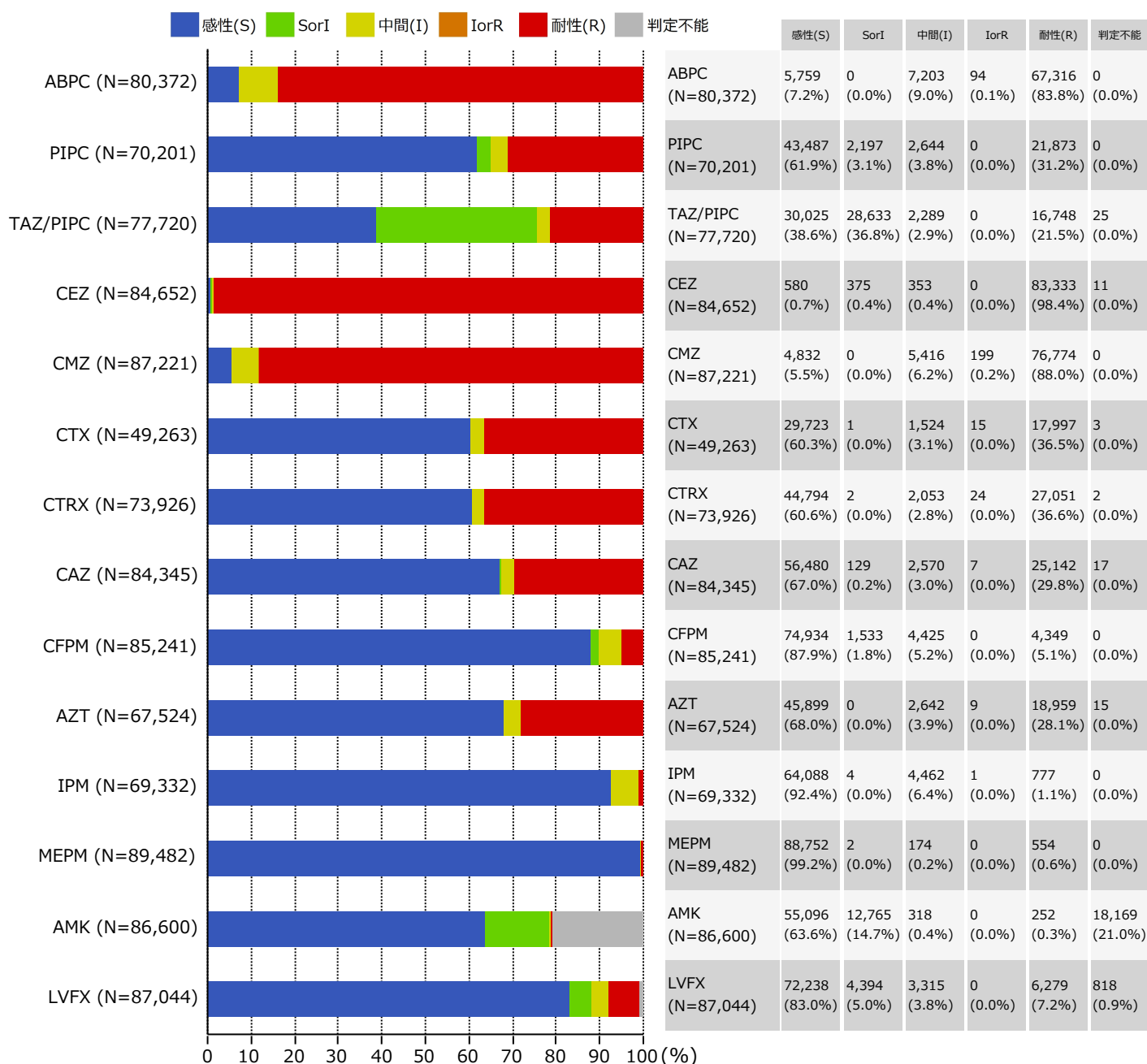
* S,I,Rの判定はCLSI 2025 (M100-Ed35) に準拠

† 菌名コード：2151と報告された菌

集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Enterobacter cloacae complex †



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている

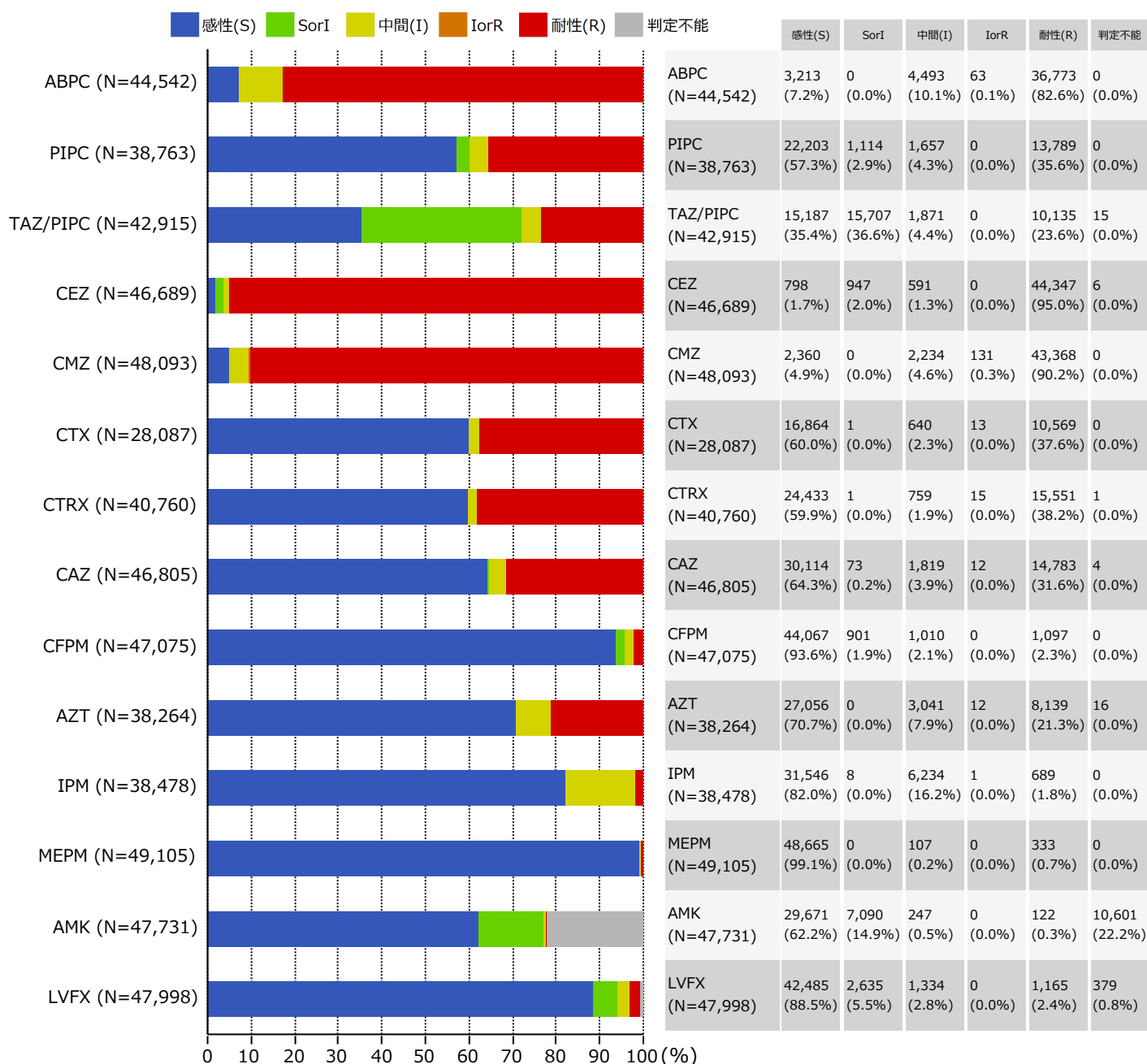
* S,I,Rの判定はCLSI 2025 (M100-Ed35) に準拠

† 菌名コード：2151, 2155, 2157～2161と報告された菌

集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Klebsiella aerogenes †



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている

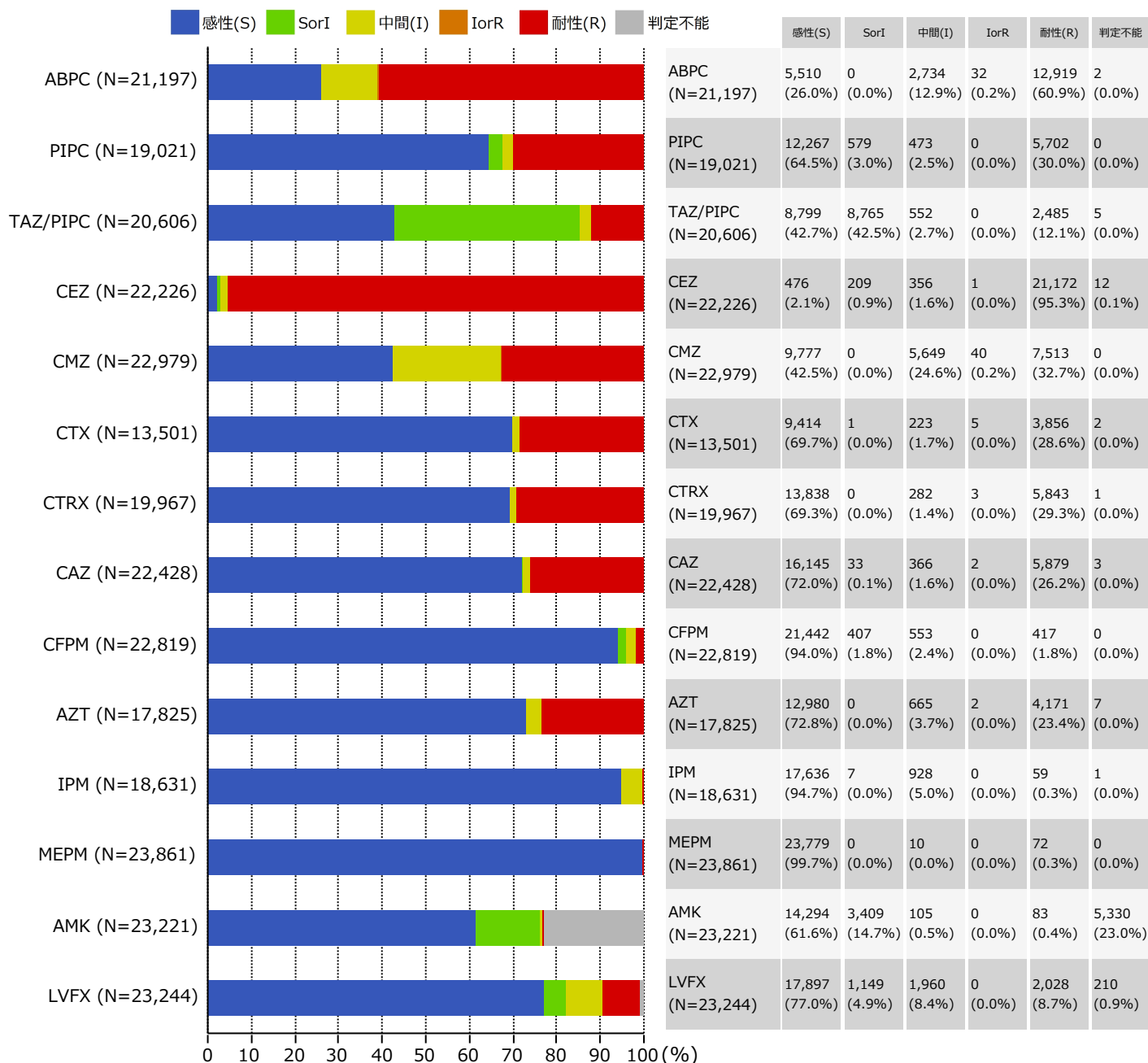
* S,I,Rの判定はCLSI 2025 (M100-Ed35) に準拠

† 菌名コード：2152と報告された菌(旧名：*Enterobacter aerogenes*)

集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Citrobacter freundii †



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている

* S,I,Rの判定はCLSI 2025 (M100-Ed35) に準拠

† 菌名コード：2051と報告された菌

集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Citrobacter koseri †



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている

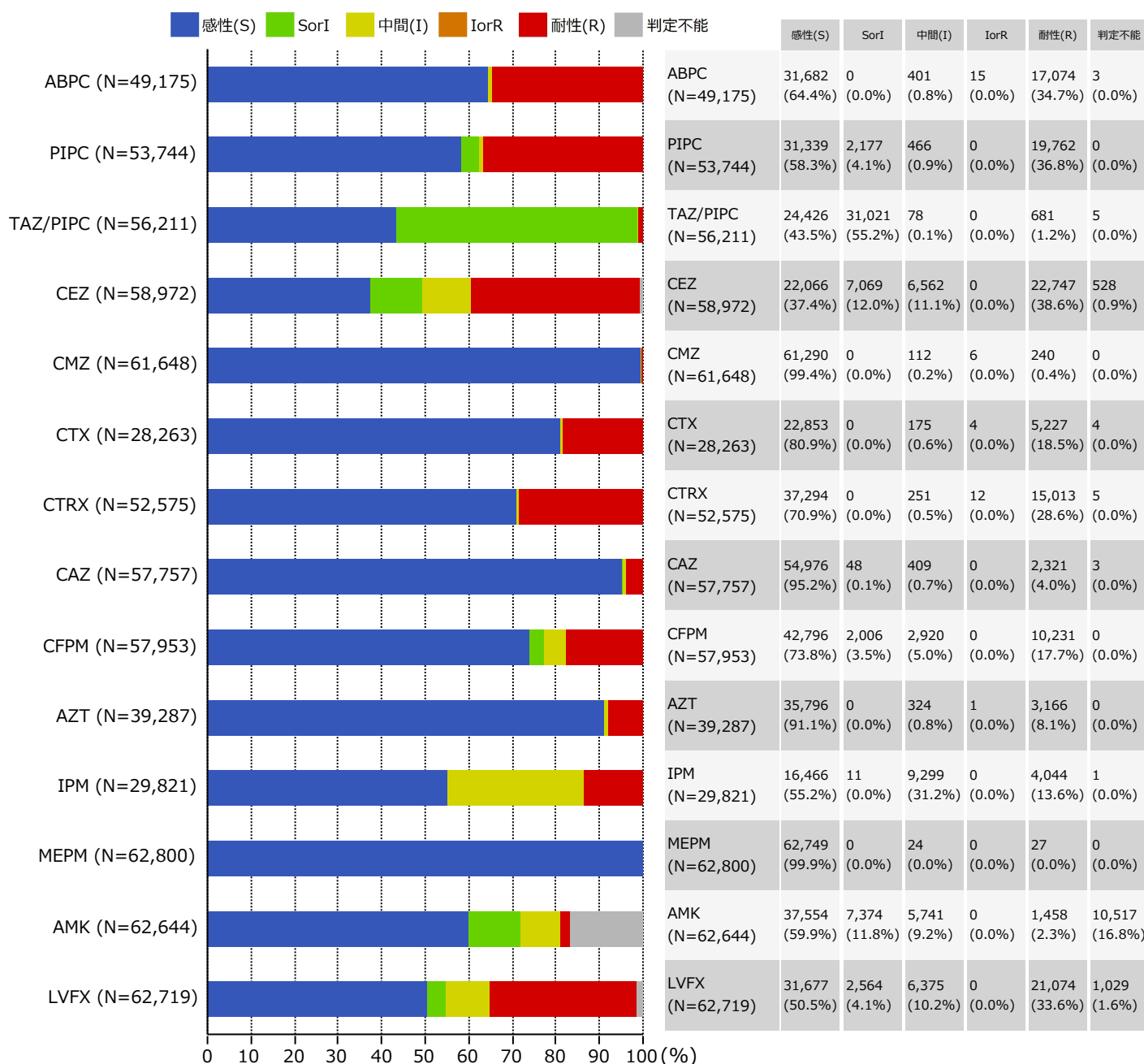
* S,I,Rの判定はCLSI 2025 (M100-Ed35) に準拠

† 菌名コード：2052と報告された菌

集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Proteus mirabilis †



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている

* S,I,Rの判定はCLSI 2025 (M100-Ed35) に準拠

† 菌名コード：2201と報告された菌

集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Proteus vulgaris †



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている

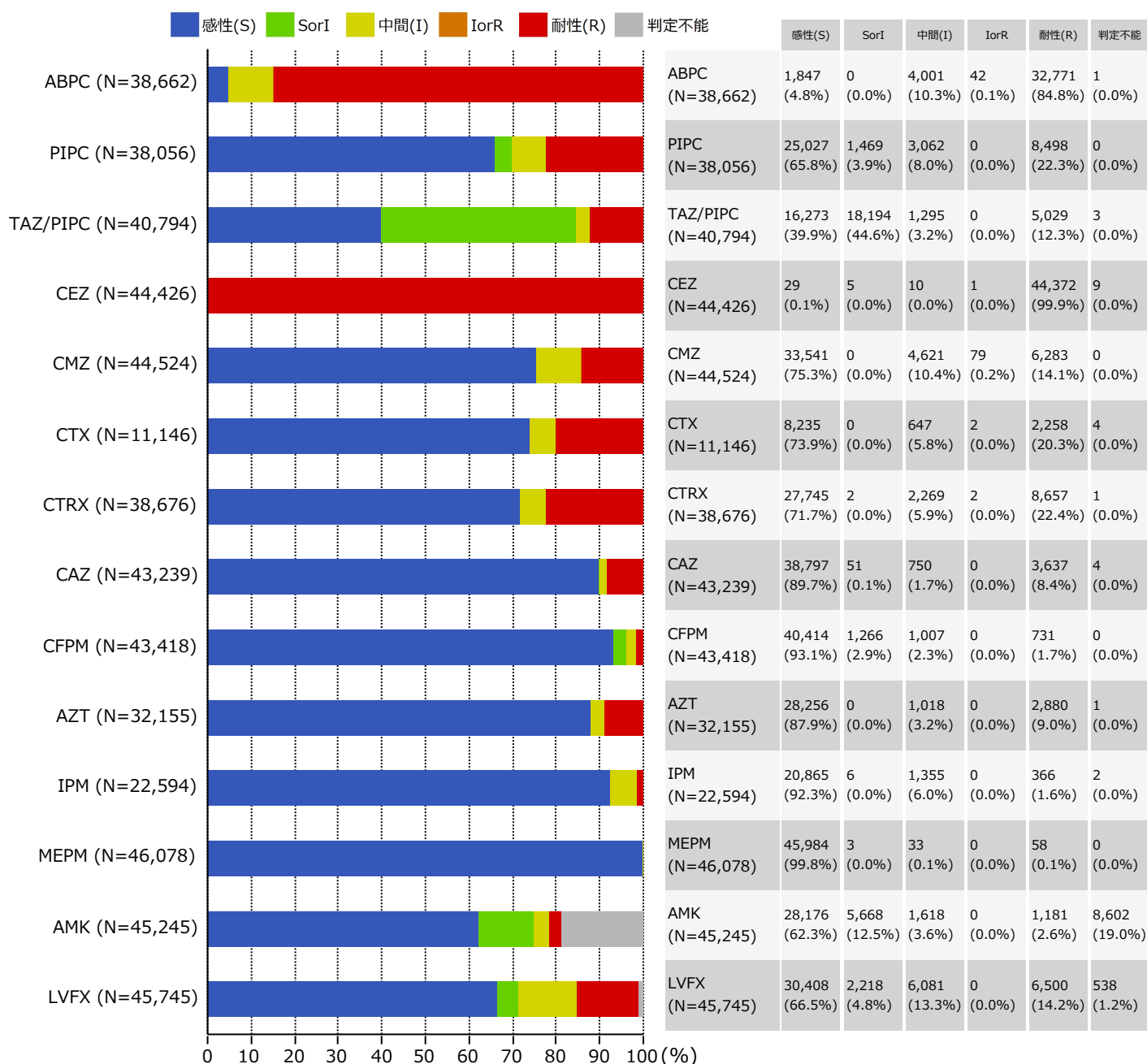
* S,I,Rの判定はCLSI 2025 (M100-Ed35) に準拠

† 菌名コード：2202と報告された菌

集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Serratia marcescens †



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている

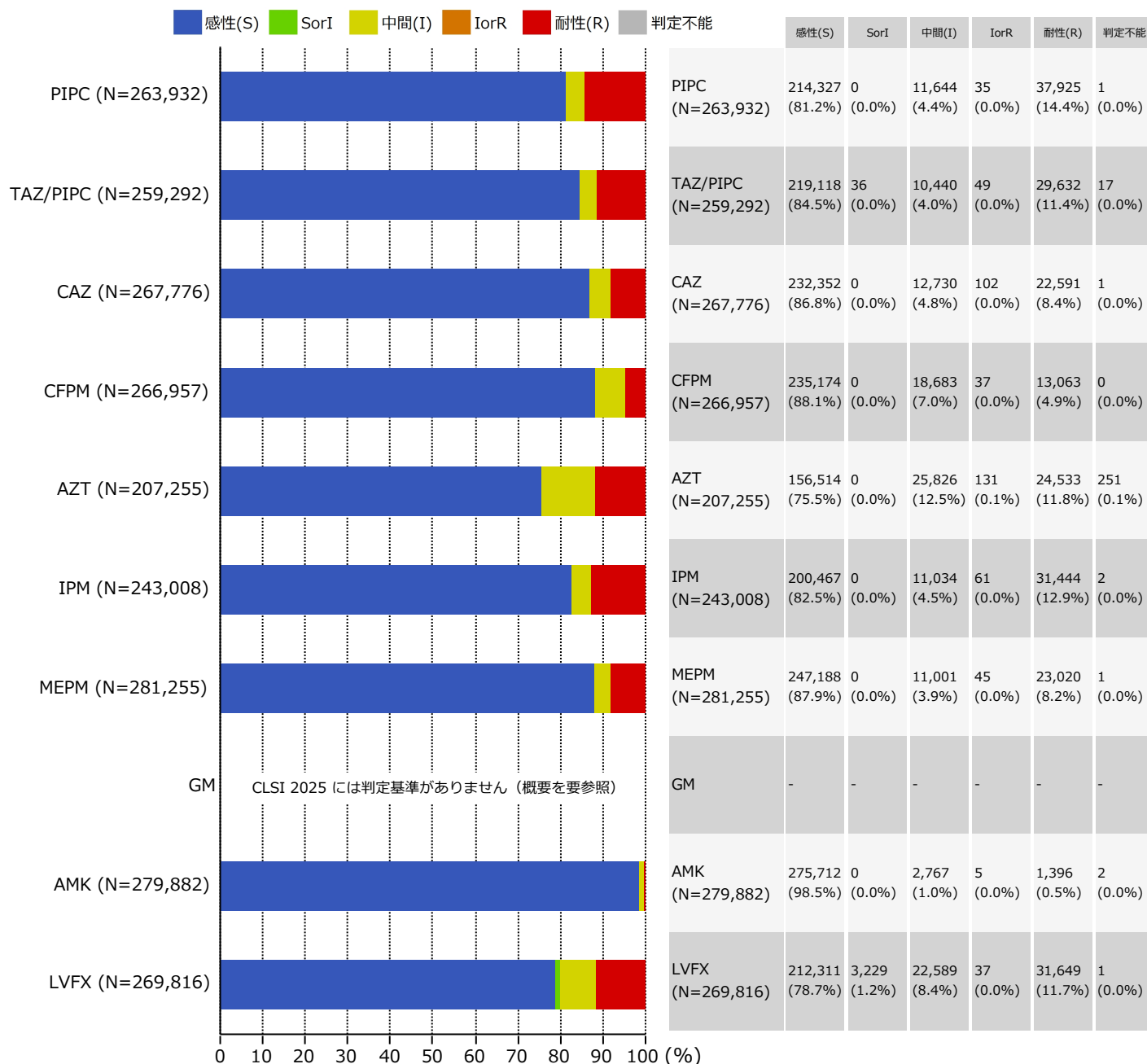
* S,I,Rの判定はCLSI 2025 (M100-Ed35) に準拠

† 菌名コード：2101と報告された菌

集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Pseudomonas aeruginosa †



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている

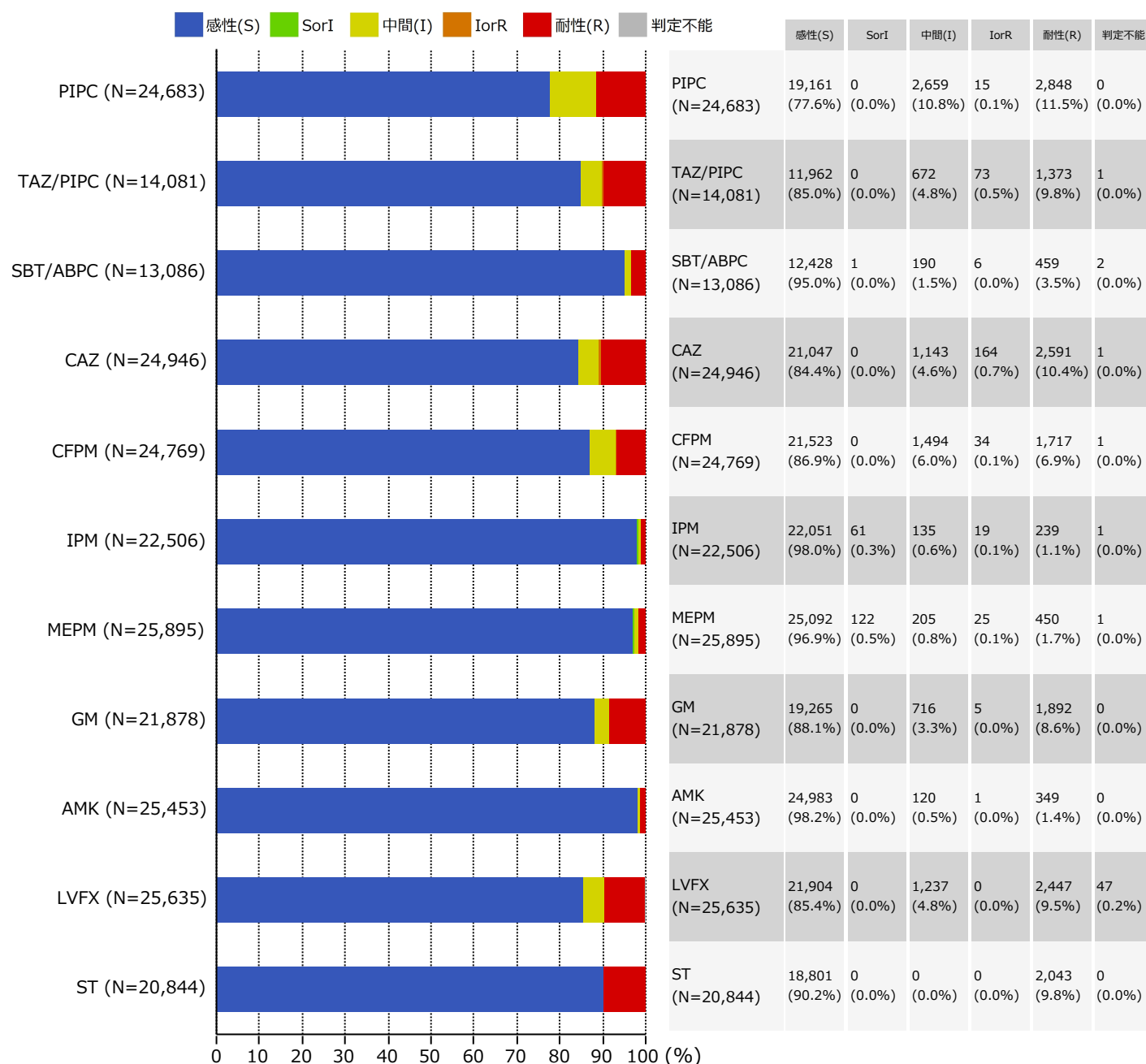
* S,I,Rの判定はCLSI 2025 (M100-Ed35) に準拠

† 菌名コード：4001と報告された菌

集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Acinetobacter spp. †



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている

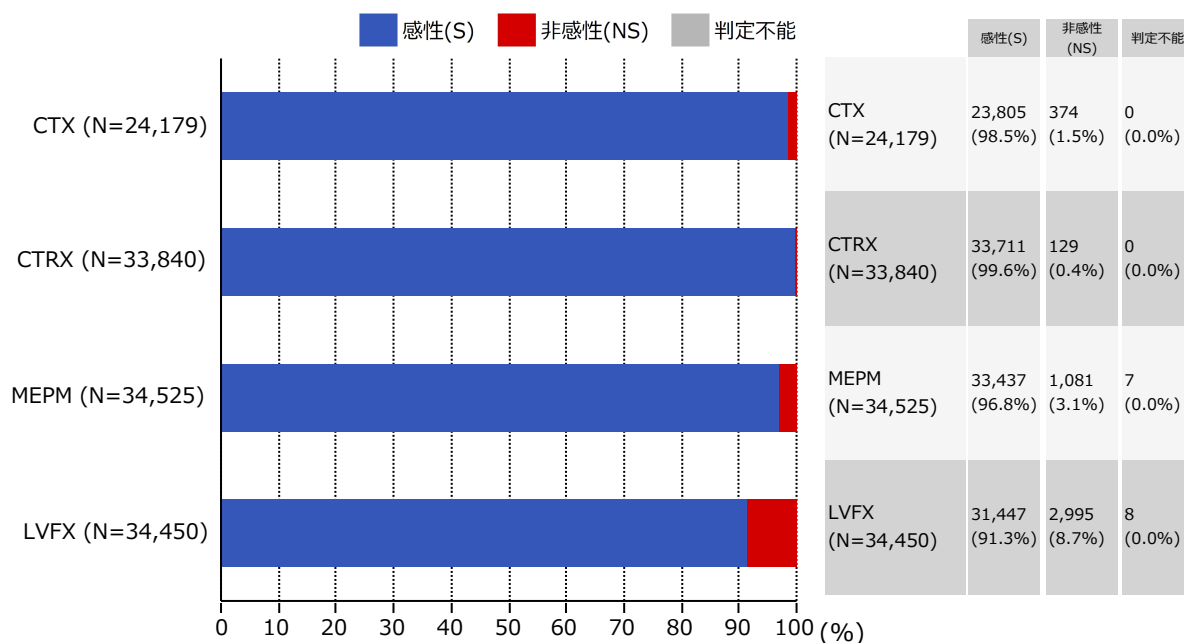
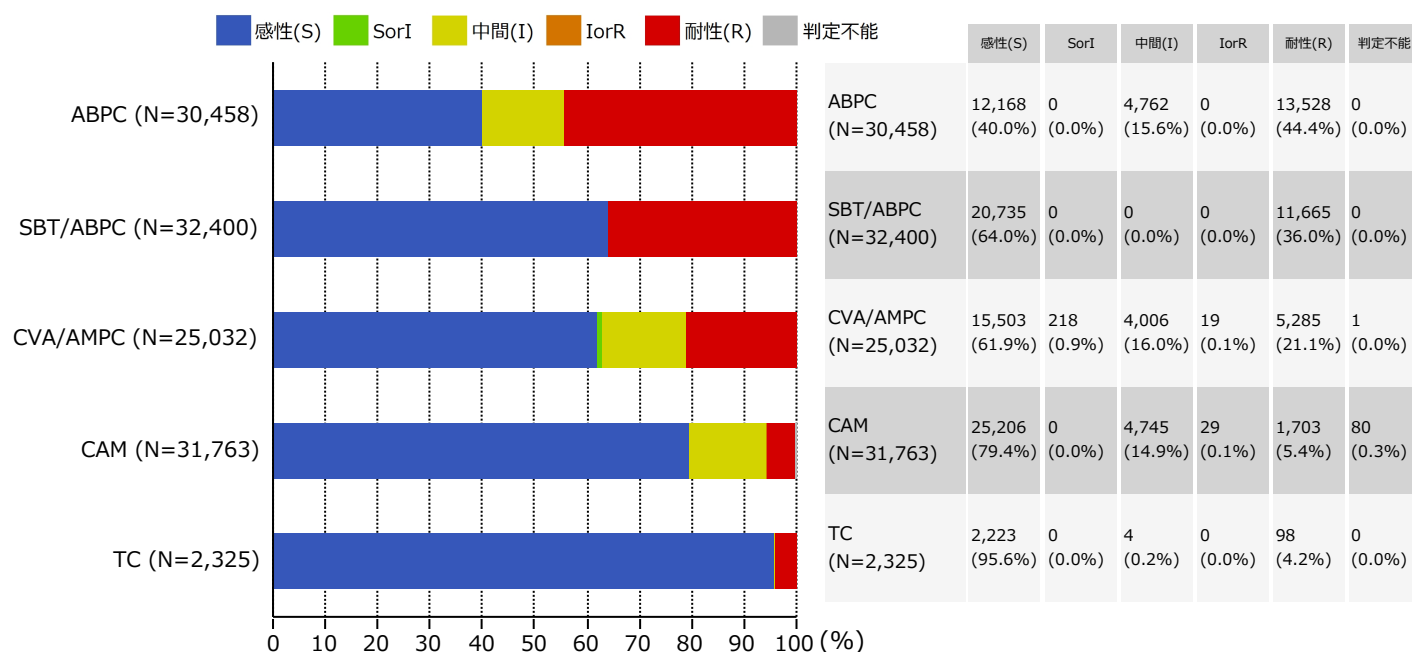
* S,I,Rの判定はCLSI 2025 (M100-Ed35) に準拠

† 菌名コード：4400～4403と報告された菌

集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

7. 主要菌の抗菌薬感受性*

Haemophilus influenzae †



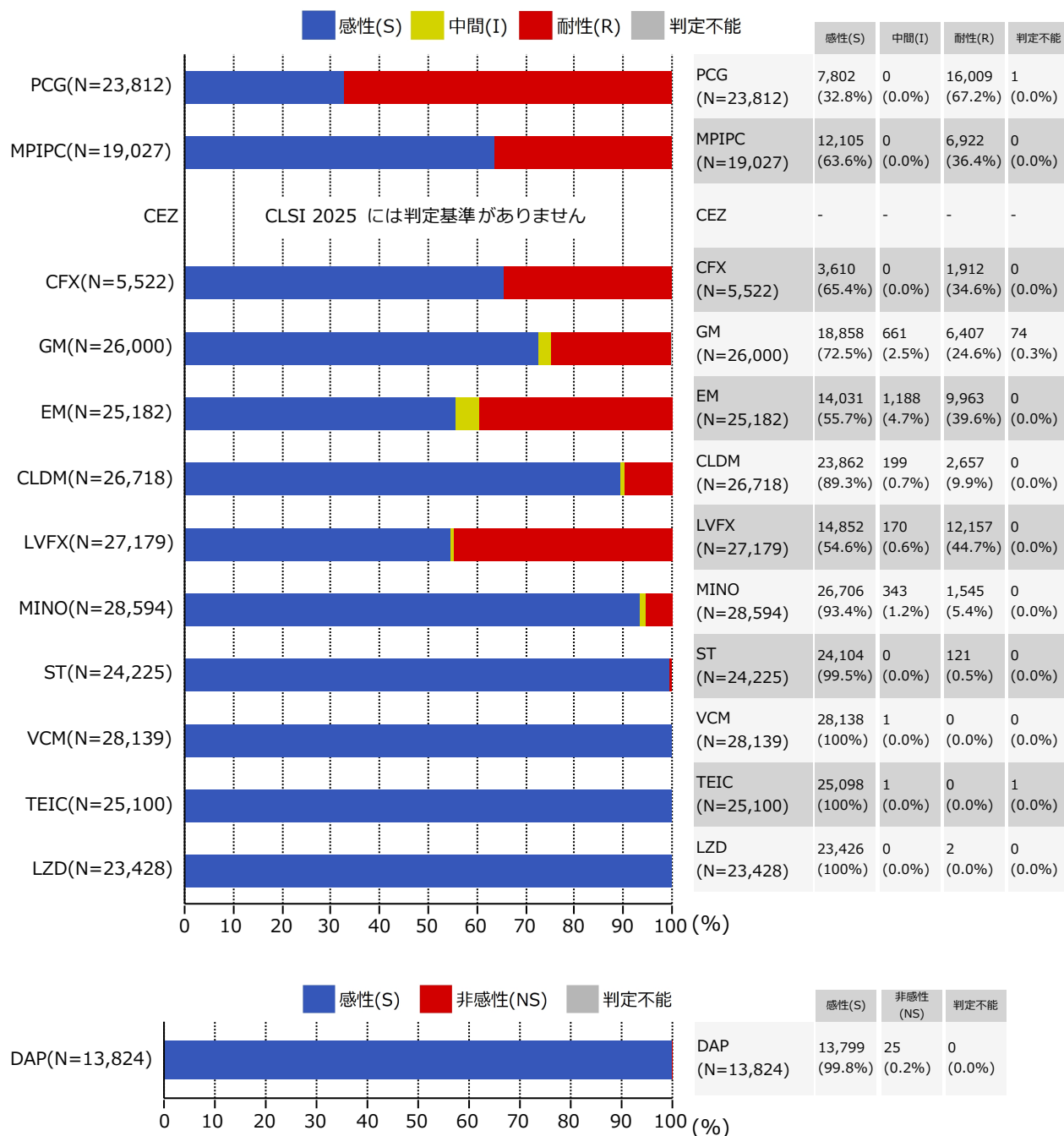
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
30日単位で、抗菌薬感受性の違いも考慮して菌株数を集計する重複処理(巻末資料)が行われている

* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2025 (M100-Ed35) に準拠

† 菌名コード：3201, 3202, 3203, 3205, 3208, 3211, 3214, 3217, 3220, 3223と報告された菌
集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

7. 主要菌の抗菌薬感受性* 【血液検体】

Staphylococcus aureus (ALL) †



入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に当該検査材料由来の各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている

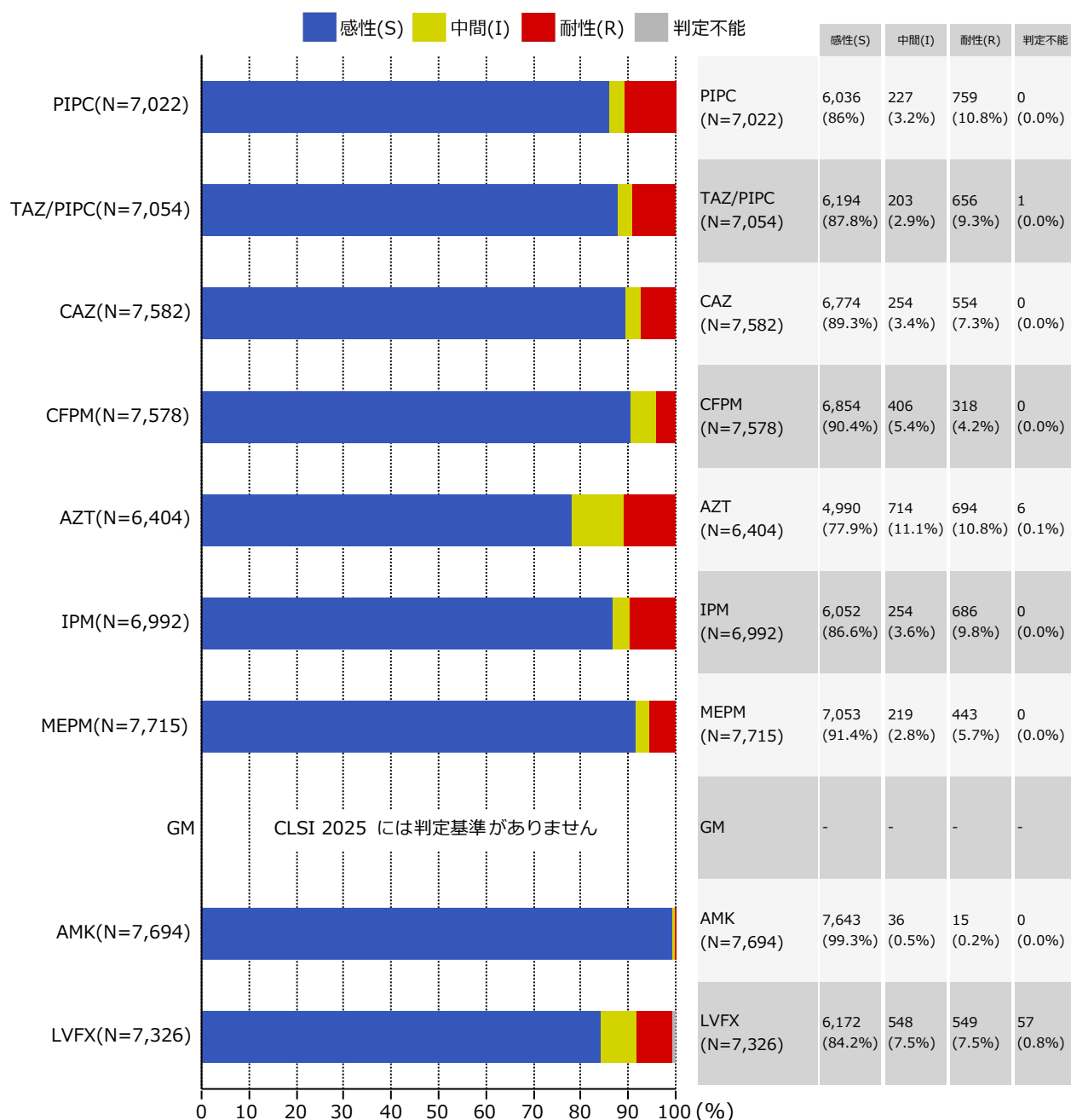
* S,I,RまたはS,NSの判定はCLSI 2025 (M100-Ed35) に準拠

† 菌名コード：1301, 1303～1306と報告された菌

‡ 集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

7. 主要菌の抗菌薬感受性* 【血液検体】

Pseudomonas aeruginosa †



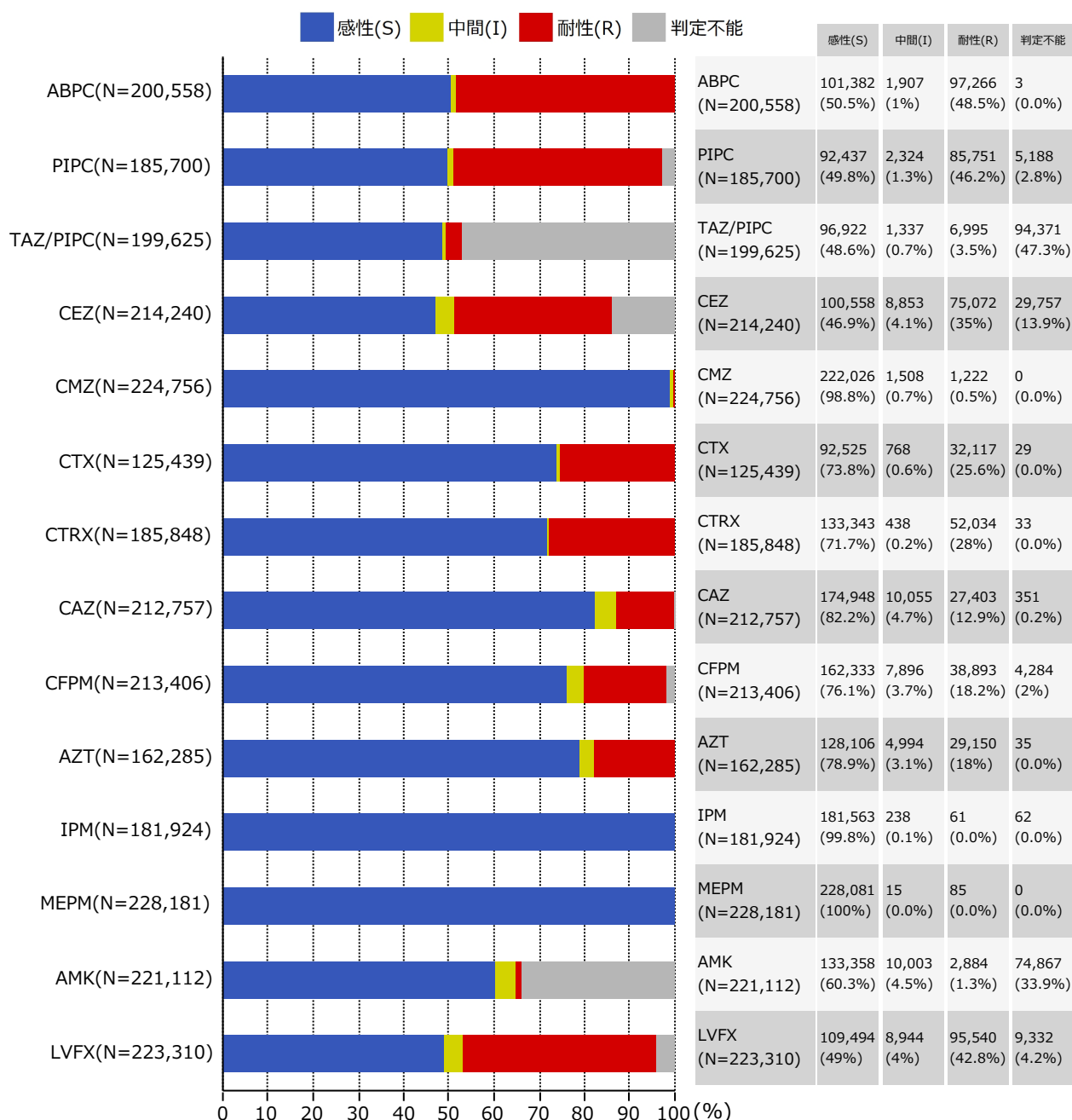
入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に当該検査材料由来の各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている

* S,I,Rの判定はCLSI 2025 (M100-Ed35) に準拠

† 菌名コード：4001と報告された菌

‡ 集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

7. 主要菌の抗菌薬感受性* 【尿検体】

Escherichia coli †

入院検体で、かつ検査法が微量液体希釈法又はEtestと設定されMIC値が報告されている検体を集計
患者毎に当該検査材料由来の各菌種の初回分離株を集計する重複処理(巻末資料)が行われている

* S,I,Rの判定はCLSI 2025 (M100-Ed35) に準拠

† 菌名コード：2001～2007と報告された菌

‡ 集計株数が30株未満の場合には、集計結果を公表しない

【巻末資料 公開情報の集計方法について】

1. 主要菌の菌名コード

菌名	菌名コード Ver.6.1
<i>Staphylococcus aureus</i> (ALL)	1301, 1303-1306
<i>Staphylococcus aureus</i> (MSSA)	1301, 1304-1306 と報告され MIPIC および CFX が “S” (一方が未測定の場合も含む)
<i>Staphylococcus aureus</i> (MRSA)	1301, 1303 と報告され MIPIC または CFX が “R”
<i>Staphylococcus epidermidis</i>	1312
Coagulase-negative staphylococci	1311,1313-1325
<i>Enterococcus faecalis</i>	1201,1202
<i>Enterococcus faecium</i>	1205,1206
<i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131
<i>Streptococcus pyogenes</i>	1111
<i>Streptococcus agalactiae</i>	1114
<i>Escherichia coli</i>	2001-2007
<i>Klebsiella pneumoniae</i>	2351
<i>Enterobacter cloacae</i>	2151
<i>Enterobacter cloacae</i> complex*	2151, 2155, 2157-2161
<i>Klebsiella (Enterobacter) aerogenes</i>	2152
<i>Citrobacter freundii</i>	2051
<i>Citrobacter koseri</i>	2052
<i>Proteus mirabilis</i>	2201
<i>Proteus vulgaris</i>	2202
<i>Serratia marcescens</i>	2101
<i>Pseudomonas aeruginosa</i>	4001
<i>Acinetobacter</i> spp.	4400-4403
<i>Haemophilus influenzae</i>	3201-3203,3205,3208, 3211,3214,3217,3220,3223

* *Enterobacter cloacae* complex は以下の菌名コードの菌種を含む

(Davlin-Regli et al (2019), *Clinical Microbiology Reviews*)

- 2151 *Enterobacter cloacae*
- 2155 *Enterobacter asburiae*
- 2157 *Enterobacter hormaechei*
- 2158 *Enterobacter kobei*
- 2159 *Enterobacter ludwigii*
- 2160 *Enterobacter mori*
- 2161 *Enterobacter nimipressuralis*

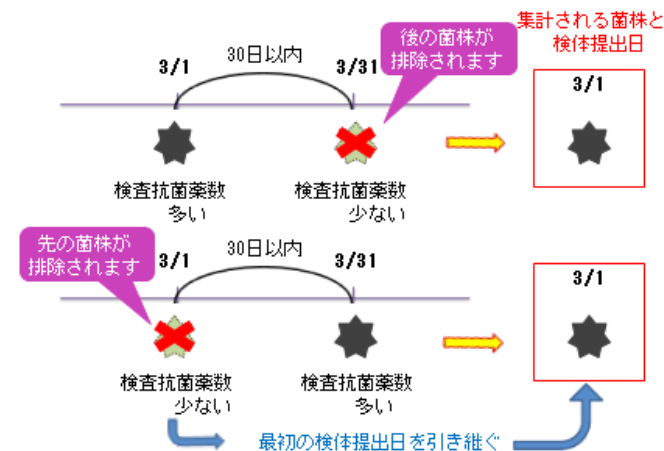
2. 抗菌薬感受性検査結果をもとにした同一菌と異なる菌との区別

30 日以内に同一患者から同一菌が検出された場合であっても、検査抗菌薬感受性結果に 1 つ以上不一致（下記①～④のいずれかに該当）がある場合は異なる菌株として集計される。

- ① MIC 値に 4 倍以上の違いがある
ただし、MIC > 2 は MIC ≥ 4 と考え、判定時は MIC = 4 として扱う
また、MIC < 16 は MIC ≤ 16 と考え、判定時は MIC = 16 として扱う
- ② SIR 判定では「S と R」の組み合わせ
- ③ +/- 判定では「-と++」または「+と+++」または「-と+++」の組み合わせ
- ④ 共通する検査抗菌薬数が 5 未満

3. 抗菌薬感受性結果の重複処理

検体提出日が先の菌株の検査抗菌薬数が（30 日以内の）後の菌株の検査抗菌薬数より多い場合、後の菌株の抗菌薬感受性検査結果は排除する。
また、検体提出日が後の菌株の検査抗菌薬数が（30 日以内の）先の菌株の検査抗菌薬数より多い場合、先の菌株の抗菌薬感受性検査結果を排除するが、先の検査の検体提出日を引き継ぐ。



4. 抗菌薬感受性結果の重複処理（検査材料別アンチバイオグラムの場合）

WHO GLASS 方式に準拠し、同一患者から同一検査材料由来の同一菌の抗菌薬感受性が複数回報告された場合は、抗菌薬感受性結果にかかわらず、初回の 1 件のみ集計する。同一患者から異なる菌の抗菌薬感受性結果が報告された場合は、それぞれ初回の 1 件のみ集計する。

